

第3学年 体育科学習指導案

2組 計24人 (男子11人, 女子13人)
指導者 阿部 大亮

1 単元 前に後ろにころがるぞ! (マット遊び)

2 単元の目標

「前転、後転が調子よくできるようになりたい」などの願いをもって、安全に気を付けて教え合いながら楽しく挑戦できる。 【関心・意欲・態度】
「勢いをつける」や「両手をそろえて手を着く」などのコツを発見し、自分の動きに生かしたり、自分の課題が解決できる場や楽しみ方を生かすことができる場を選んで挑戦したりできる。 【思考・判断】
前転や後転などの多様な動きを順次接触しながら、回転するスピードを生かして調子よくできる。 【技能】

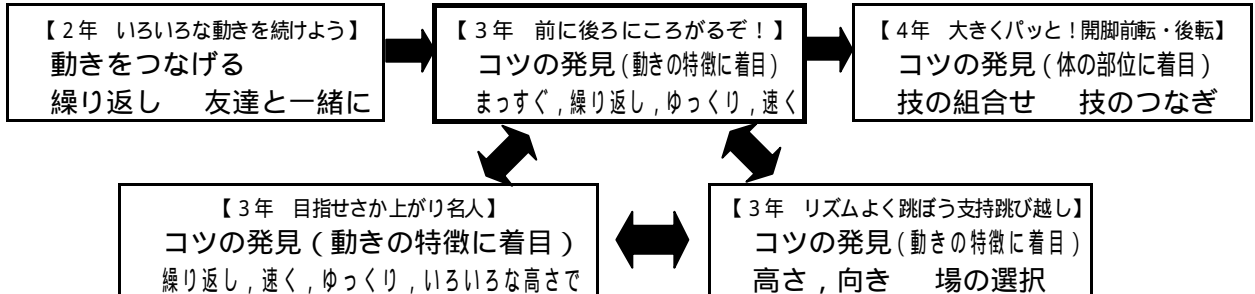
3 単元について

(1) 単元の価値

これまで子どもたちは、「動きを続けたマット遊び」の学習を通して、多様な動きを見つけて色々な方向にころがる楽しさを味わってきている。さらに、マットの置き方を工夫して見つけた動きを繰り返す、組み合わせるなどの楽しみ方を学習してきている。そして、「前転や後転などを調子よく回れるようになりたい」「できる動きでもっと楽しみたい」という欲求をもっている。

そこでここでは、「前転」「後転」を中心に運動に取り組む中で、自分で挑戦したり、友達の動きを見たりしながらコツを発見し、そのコツを自分の動きに生かして、友達と教え合い、励まし合いながら、マット運動の基礎となる動きを高めたり、多様な前転、後転をつくって動きを広げたりするものである。また、できるようになった動きを「まっすぐ、繰り返し、ゆっくり、速く」などの観点で楽しみながら動きを高め、マット遊びの楽しさを味わっていくものである。

ここで学習してきた、前転、後転の動きの特徴に着目したコツの発見の仕方や「まっすぐ、繰り返し、ゆっくり、速く」などの楽しみ方は、「開脚前転」「開脚後転」の動きを高め、自分に合った連続技をつくり、マット運動の楽しさを追究していく学習へと生かされていく。



【学習内容の関連及び「学び」の系統】

(2) 運動の特性と教材について

マット運動は、逆さまになったり、回転したりなど非日常的な動きを通して、新しい技に取り組み、新しい動きができるようになったときに、達成感や成就感を味わうことができる運動である。また、今できる動きをよりよくできるようになったり、組み合わせで調子よくできるようになったりするなど、動きの高まりについても楽しさを味わうことができる運動である。

子どもたちにとっての「前転」「後転」は、腕支持の感覚や回転感覚などを十分味わってきた子どもたちにとって身に付けやすい動きであり、体をマットに順次接触させて調子よく「クルッ」と回ったり、回転するスピードを生かして「スッ」と立ち上がったときに、運動の楽しさを味わうことのできる動きである。特に「後転」は、まっすぐ回ることが難しく、調子よく回れたときには成就感や達成感を味わうことができる動きである。また、「まっすぐ、繰り返し、ゆっくり、速く」などの観点で動きを高めることで、運動の楽しさをさらに味わうことができる。動きが高まった子どもには「足伸ばし、足開き」などの動きにも挑戦することができる。また、動きの高まりが見られない子どもに対しても、ラインテープを引いたマットや、踏み切り板を利用した傾斜マットなどの場や教具を準備することで、自分に合った場で今できる動きを十分に楽しむことができる運動である。

(3) 本單元における「学び」を生かす子どもの姿

本單元では、自分で挑戦したり友達の動きや掲示資料を見たりすることで、「前転」「後転」のコツを発見し、それを自分の動きに生かし動きを高めたり、多様な前転、後転をつくって動きを広げたりしていく。さらに、「まっすぐ、繰り返し、ゆっくり、速く」などの楽しみ方を自分なりの動きに生かし、前転、後転の動きを高める楽しさを味わっていく子どもの姿を目指すものである。

(4) 子どもの実態（平成 20 年 9 月 12 日実施）

項 目	回答（対象 24 人，数字は人数）			
1 マット遊びへの興味・関心	好き（15） どちらかといえば好き（8） どちらかといえば嫌い（1） 嫌い（0）			
理 由	新しい技に挑戦できる（11） 転がるのが楽しい（10） 色々なコツがある（1） マットがふわふわで気持ちいい（1） 気分が悪くなる（1）			
2 挑戦したい楽しみ方 （複数回答）	・友達と競争する（13） ・スローモーションで回る（7） ・連続で回る（4） ・友達と一緒に合わせて回る（3）			
3 動きを高めるための学び方 （複数回答）	・コツを見つける（17） ・道具を使う（3） ・友達に手伝ってもらう（3） ・何回も練習する（2）			
4 前転	3	21	0	
5 後転	3	17	4	
6 前転のコツ （複数回答）	・勢いをつける（9） ・後頭部をマットにつける（5） ・おへそを見る（3） ・手をパーにする（1） ・手を耳の横に置く（1） ・分からない（4）			
7 後転のコツ （複数回答）	・後ろに勢いをつける（7） ・耳元に手をつく（6） ・後頭部をマットにつける（3） ・マットを思い切り蹴る（2） ・おへそを見る（2） ・足を地面につける（1） ・分からない（4）			

マット遊びへの興味・関心については、多くの子どもが高く、その理由として、「新しい技に挑戦できる」「転がるのが楽しい」ことなどを挙げている。その反面「気分が悪くなる」という理由から興味・関心の低い子どももいるので、のびのびタイムで多様な類似運動に取り組み感覚づくりを行いたい。楽しみ方としては、「競争する」「スローモーションで回る」などで転がりたいと考えている子どもが多い。子どもたちが挙げている楽しみ方を生かして前転、後転に挑戦できるような場の工夫を行いたい。動きを高めるための学び方については、「コツを発見する」「道具を使う」などこれまでの「学び」を生かすことで動きを高めることができていると考えている子どもが多い。運動の技能については、前転、後転ともに、順次接触で転がることや回転加速を生かしてスムーズに立ち上がることができる子どもが少ない。このことから、コツを発見し、それを生かして動きを高めていく活動を取り入れていくようにする。前転、後転のコツについては、自分なりのコツを発見しているのので、子どもたちが発見したコツを確めながら、みんなが使えるコツとしてまとめていきたい。

4 指導に当たって（研究の視点との関連）

【掲示資料の工夫】

動きが段階的に示された資料(コツ発見ボード)に発見したコツを掲示していくようにする。

【運動する場や教具の工夫】

マットにラインテープを張ったり、踏み切り板をマットの下に置いたりするなどの場の工夫を行うことで、子どもたちが自分の課題に合った場を選ぶことができるようにする。

自分なりの楽しみ方を自分の動きに生かすことができるように、子どもたちの課題に合った場や教具の工夫を行うようにする。

【発問・言葉かけの工夫】

子どもたちが発見したコツを中心に、教師が言葉かけや指導を積極的に行う。

「 できるようになったのはどうしてかな。」と動きの高まりの根拠を問う発問をすることで、動きの高まりと「学び」の関連を価値付け、一般化することができるようにする。

子どもがこれまでに身に付けてきた「学び」を想起したり、工夫したり、新しく発見したりすることができるように「これまでどんな楽しみ方で回ってきたかな。」「他にどんな楽しみ方で回ることができるかな。」などの発問を行うようにする。

5 指導計画(全8時間)

教師の指導


重点評価項目

過程	主な学習活動	教師の指導	評価方法
つかむ (1)	<p>前転, 後転が調子よくできるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の進め方(約束, 準備の仕方等)を知る。 のびのびタイムの内容を知る。 前ころがり競争をしたり, 細道マットをころがったりする中で課題を見つけ, 共通のめあてを設定する。 試しの動きと資料などを見比べて自分のめあてを設定する。 [めあて1]の内容を知る。 	<p>学習の流れやめあてを掲示し, 楽しく学習を進めるためのマナーや約束について確認することで, これからの学習の見通しをもつことができるようにする。</p> <p>運動する場や用具の準備などの安全面について指導の徹底を図るようにする。</p> <p>試しの動きと資料や友達の動きとを見比べて自分のめあてを設定することができるようにする。</p> <p>「前転, 後転が調子よくできるようになりたい」という思いをもって試しの動きに進んで取り組むことができたか。 (関・意・態)</p>	<p>体育ノート 観察</p>
挑戦する (6) 本時 5/8	<p>[めあて1] 発見したコツを生かして, 前転, 後転に挑戦しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分で挑戦したり, 友達の動きや掲示資料を見たりすることで, コツを発見する。 発見したコツを確かめ合って, みんなのコツとしてまとめる。 発見したコツを自分の動きに生かして動きを高める。 <p>[めあて2] いろいろな楽しみ方で, 前転, 後転に挑戦しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「まっすぐ, 繰り返し, 速く, ゆっくり」などの楽しみ方を生かして自分なりの前転, 後転に取り組む。 「足伸ばし, 足開き」前転, 後転をつくって取り組む。 自分なりの楽しみ方を紹介したり, 友達の楽しみ方で楽しんだりする。 	<p>子どもたちがコツを発見することができるように, 動きが段階的に示されている掲示資料(コツ発見ボード)を準備するようにする。</p> <p>動きを見る視点を示した後に, 友達の動きを見て話し合う活動を行うことで, みんなが使えるコツとしてまとめていくようにする。</p> <p>マットにラインテープを張ったり, 踏み切り板をマットの下に置いたりするなど子どもたちが動きを高めることができるような場の工夫を行うようにする。</p> <p>友達の動きや資料などを見て, 前転, 後転のコツを発見し, それを生かして練習に取り組むことができたか。(思・判)</p> <p>子どもたちが楽しみ方を自分の動きに生かすことができるような場の工夫を行うようにする。</p> <p>自分なりの楽しみ方を生かすことができる場を選択し, 挑戦することができたか。(思・判)</p>	<p>体育ノート 観察 体育ノート 観察</p>
たしかめる (1)	<p>みんなで3年2組のマット遊び発表会をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を生かして自分なりのマット遊びを発表する。 単元全体を振り返る。 発展技を見て意欲を高める。 	<p>発表会を通して, 学習全体を振り返ることで, 自分や友達の伸びやよさに気付くことができるようにする。</p> <p>自分なりのマット遊びを発表することができたか。(技)</p>	<p>観察</p>

6 本 時 (5 / 8)

(1) 本 目 標 「後転を調子よく回れるようになりたい」などの願いをもって友達と教え合い励まし合いながら進んで挑戦できる。【関・意・態】
 友達の動きや掲示資料などから、コツを発見し、それを生かして練習に取り組むことができる。【思・判】
 コツを生かして後転が調子よくできる。【技】

(2) 展 開 教師の言葉かけ 子どもの反応 重点評価項目 個に応じた指導

過程	主な学習活動と予想される子どもの反応・教師の言葉かけ	教師の指導
つかむ (9)	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">本時のめあてについて話し合う。 発見したコツを生かして後転に挑戦しよう。</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">のびのびタイムで心も体もほぐそう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">準備運動、のびのびタイムをする。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">ゆりかごを大きく振ってできたぞ。</div> </div>	<p>手首、肩、腕などを中心にほぐすようにする。楽しみながら、後転につなげる動きや感覚づくりができるように、「前転」や「ゆりかご」などの前の時に発見したコツを掲示することによって、自分の動きを生かして、挑戦する。</p> <p>進んで子どもたちに前時に発見したコツを生かすための言葉かけや指導を行うことで動きを高めることができるようにする。子どもたちがコツを生かして動きを高めること切が板を生活した坂道マットなどの場や教具を工夫する子どもたちがコツを発見できるように「は どうなっているかな。」という発問を行うようにする。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>友達の動きや掲示資料などから、コツを発見し、発見したコツを生かして練習に取り組むことができる。【思・判】 コツを自分の動きに上手く生かすことができなかつた子どもに生かしていけるように言葉かけをしたり、補助をしたりする。また、その子どもに合った場を選択させるようにする。【技】 コツを自分の動きに生かし動きを高めることができた子どもグループの示範になったり、友達の補助をしたり、さらに動きを高めるための課題を与えたりするようにする。</p>
挑戦する (28)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">前時に発見したコツを生かして後転に挑戦しよう。挑戦しながら新しいコツも発見しよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; text-align: center;">後転に挑戦する 【チャレンジ】</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">前の時間は、おへそを見て回るというコツを発見したぞ。</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">上手く転がるには、両手をどう使えばいいかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">チャレンジを生かして後転のコツについて話し合う。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">両手でマットを押し立て上がっているよ。</div> </div>	
たしかめる (8)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">発見したコツを生かして後転に挑戦しよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; text-align: center;">話し合いを生かして後転に挑戦する。 【チャレンジ】</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">両手でマットを押し出すというコツを生かしてがんばるぞ。</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">自分がやってみたい楽しみ方で後転に挑戦しよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">自分なりの楽しみ方で後転に挑戦する。 【チャレンジ】</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">ぼくは、細道マットを落ちずにまっすぐ回りたいな。</div> </div>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">今日、授業で上手にできるようになったことを紹介してくれるかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">今日は、坂道マットを使わないで回ることができました。</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">上手く回れたのは、どうしてかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">コツを生かして練習したからです。</div> </div>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; text-align: center;">整理運動をする。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">次回は、自分なりの楽しみ方で前転や後転に挑戦していこうね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; text-align: center;">本時の学習を振り返り、 体育ノートに記入する。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">次の時間も頑張ろう。楽しみな。</div>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; text-align: center;">本時の学習を振り返り、次時の学習に見通しや意欲をもつ。</div> 